

星屑

2009年12月号

No. 417



牡牛座の散開星団 M45 すばる
12.5cmライトシュミットカメラ

熊本県民天文台

10/17(土)、熊本市五福公民館講座

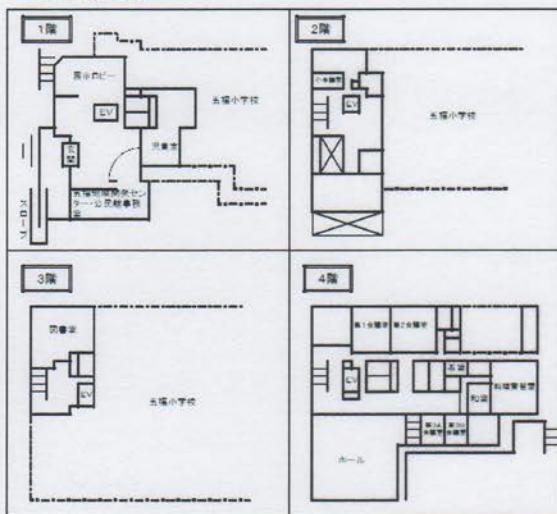
あなたもガリレオ 木星を見よう！

街中にある複合施設で、はくちょう座X-1も観察できました

43名の参加者と、通りがかりの20~30名が楽しんで下さいました



五福公民館平面図



参ったのはC-11（口径28cmのシュミカセ）と口径12cm、焦点距離600mmの屈折望遠鏡です。これらを、運動場の北側の端付近に設置、組立が終わったら、すぐに木星を導入して暗くなるのを待ちました。待っている間に、2階の会議室でもパソコンやプロジェクターをセットして、こちらも準備完了です。

イベントが始まる前から

こうして、たっぷり余裕を持って臨んだはずだったのですが、「星の観察」はイベントが始まる前から「開始」されてしまいました。というのも、望遠鏡を設置した場所が温水プールやアリーナへの入口付近にあたっていたからです。望遠鏡の設置が終わった時刻が、プールなどの夜の利用開始時刻だったのかも知れません。次々にスポーツウェアに身を包んだ小・中学生や大人達

ガリレオから400年！

世界天文年にあわせて、ガリレオが体験した「星空を観察する驚き」を、大勢の人達に共有してもらいたいという思いから企画されたイベントです。ちょうど、夕空に木星が見える時期もあり、講師役を引き受けました。熊本市の中心に近い立地ですし、周囲は商業ビルやマンションなどで囲まれているはずですから、野外での観察と室内での解説の2本立てで行うよう企画を進めました。

複合施設です

会場の五福公民館は、公民館や水泳プール、それに五福小学校などが1つの建物の中に入っている複合施設です。街中の再開発によって誕生した面白い施設ですね。ここを会場にするのは初めてでしたから、開始時刻の19時よりも2時間くらい早く17時過ぎには現地に到着。まず会場周辺の様子を調べました。

望遠鏡を設置したのは、小学校のグラウンド部分です。ビルに囲まれてはいますが、南側の建物がそれほど高くないし、グラウンドが東西方向に長いので、結構広い視野を確保できそうでしたから。持

がやってきました。通りがかる人達はよほど望遠鏡が珍しかったようです。真っ直ぐに望遠鏡のところにやってきて、接眼部をのぞき込み始めました。そして、大きな声で驚いています。「これって、もしかしたら木星じゃない!?」「周りに見えている小さな星は何?」・・・そんな声が響きます。どうやら、今夜は大成功! イベントが始まる前から、そんな予感に包まれました。

さすがに星は見えにくかった

続々と家族連れが詰めかけ、開始時刻前にほとんどの参加者が集まつたようでした。そのまま、その場で開会を宣言。木星の観察と解説から始めました。プラネタリウムを見たことはあっても、大型の望遠鏡を使って、自分の目で木星を観察した経験のある方はほとんどいなくて、皆大喜び。衛星が見事に一列に並んでいる様子も「感動」だったようです。

当夜は、所々に薄雲が広がっている状態でした。そのせいもあって、頭上を見上げてもあまり星が見えません。頭の真上付近に見えている夏の大三角でさえ、弱々しい光にしか見えないのです。これには参りました。望遠鏡でベガなどを見てもらって、それなりに満足はして頂いたのですが、このまま終わつたのではこちらが楽しくありませんよね。それで、例によって、「このあたりにブラックホールがあります」と、特製のライトで夏の大三角の真ん中あたりを指し示しました。

はくちょう座のX-1が見えた!

「えっ!? ブラックホールって、本当にあるの!??」 とたんに、大人も子どもも質問の嵐! 「見たい! 見たい!」の大合唱が始まりました。・・・言いましたのは私ですからね、何とかして、望遠鏡の視野に導入しようと、そこから悪戦苦闘です。何しろはくちょう座の「首の星」η(イータ)星がどこにあるかさえ分かりにくい状態です。「入るかどうか分かりませんが、とにかく頑張ってみます。」と言い訳をしながらの導入作業でした。

でも、幸いなことに、ちょうど晴れ間が通つたらしく、間もなくイータ星が視野に入り、すぐにお目当ての「X-1」も見つかりました。良かった!! ホッとして後ろを振り返ると、そこにはもう長蛇の列ができていました。たぶん、1人が数回、この列に並んだのではないでしょうか?

野外での観察は予定時間を延長して行われ、「もっと見たい!」の声を残しつつ、室内での解説へと移動したのでした。

星座早見とブラックホール

お天気予報では「雨」だったので、室内での解説用にと、ガリレオのことなどたっぷりと素材を準備して出かけたのです。でも、野外での観察ができましたから、解説もそれに合わせた内容に変更。参加者からの質問を受け、それに応える形で進めました。まずは、「どうしたら、その日見えている星の名前が分かるのか?」という質問への答えから。これは、「星座早見の使い方」の解説が最適ですね。「星の観察 自由研究入門」の電子紙芝居が活躍しました。

次は、やっぱり、ブラックホールでした。「ブラックホールって何か?」「見えないはずなのに、どうして見えるのか?」「一杯あるのか?」「どうしてできるのか?」たくさんの質問が出てきました。そこで、「ブラックホールって本当にあるの?」の電子紙芝居を使って解説。これも好評でした。(好評すぎて? 写真を撮る余裕さえないほど。結局1枚も撮れずに終わってしまいました。)

小さな子どもさんも参加されていましたから、1つは星座物語も楽しんでもらおうと、上演したのは「天に投げ上げられた熊」のお話。北斗七星に関するアメリカインディアンのお話です。そして最後は、やっぱり「星空クイズ」。プロジェクターで投影された「メニュー画面」にあるを見つけると、必ず子ども達がリクエストしてくれるんです。こうして、無事にイベントが終わりました。お土産写真も喜んでもらえたし、講師を務めた私は大満足で帰っていました。(Tsu)

**10/24(土)、宇城中央公民館から来台
子どもの楽校 「秋の星空観察」
ブラックホールで興奮？ 最後まで、観測室で解説し続けました**



やはり国際天文年

だからでしょうか、宇城市の中央公民館からも「子どもの楽校」の1つの講座として、星の観察を体験させたいと、早い時期から利用の申込みがありました。

「火の君祭り」の前日ですから、古墳公園内にはテントが設営されたり、仮設のステージが作られたりして準備が完了した状態。夜には警備のためのガードマンが常駐していました。

受け入れる私たちも、早めに天文台に行って、あれこれ準備を済ませていました。ところが、予定期刻になっても団体さんが到着しません。前日までは、割と頻繁に入っていた電話での連絡もナシです。「まさか日にちが違ってないよね？」とか、とたんに心配が募りました。インフルエンザも流行っているようだし・・・・

何度も、天文台から公園内へ出ては、駐車場あたりの様子をうかがいました。・・・・

心配無用の賑やかさ！

予定より少し遅れて一行が到着。そのまま2階の観測室に上がってもらって、観測室の移動屋根を開けるところから始めました。この日も、天気予報に反して、何とか星が見えるお天気だったからです。

木星の観察から始め、できるだけ高度の高い天体を次々に望遠鏡に導入して、見てもら

いました。こちらの担当はヒゲさんです。一方、私は、望遠鏡で観察する順番を待っている人達相手の解説を担当。観測室が満杯になるほどの人数でしたから、できる限りの大きな声で、星や星座の解説を始めました。大勢の子ども達と少人数の引率者の団体ですが、子ども達の元気の良さは格別で、次々と質問が飛びだし、途切れることはありませんでした。

途中で、「このあたりに、ブラックホールがあるよ」と夏の大三角の真ん中あたりを指し示したものですから、「賑やかさ」に拍車をかけてしまったようです。観測室では、大画面を使った解説ができません。大勢を相手にして「見れば分かる解説」はやりにくいのです。それで、一層大きな声で、くり返しき返し、質問に応え続けることになってしまいました。結局、この日は1階のミーティングルームを使わざじまい。始めから終わりまで2階の観測室で、星の観察と解説をするという、異例の展開になりました。そんなわけで、撮影できた写真が少ないので。

10/25(日)、「城南町」としては これが最後の開催です

塚原古墳公園で「火の君祭り」

あいにくの雨、天文台への来台者数は120名程度でした



シャッターの隙間から景色を観察



城南町の民話シリーズと「恐竜と星空」上演

11/06(金)~08(日)、 城南町火の君文化祭
天文台を会場に「星空の観察体験」
雲の多いお天気でしたが、家族連れやカップルが来台！

11/14(土) 長野県木曽福島で

13:00～17:00 第3回「天の川にやさしい街づくりシンポジウム」
「星空の見えるまちづくり」

照明を変える 熊本での取り組み を発表します

11/17(火) 活発な活動がありそうだとの予報も!

「しし座流星群の極大日」事前解説をやった方が良いかも

11/13~15 の 運営担当の方々、よろしくお願ひります!!

A horizontal row of 30 gray five-pointed stars, evenly spaced, used as a decorative separator at the bottom of the page.

11/20(金) くじら座の変光星「ミラ」が極大です！

「公開日」ですから、観察・解説しましょう！

A horizontal row of 30 gray stars, evenly spaced, used as a decorative separator or header element.

11/21(土) 城南町 子ども教室

16:30~18:30 「ロケット打ち上げと天体の観察」

参加者多数の見込み、応援できる方、よろしくお願ひします

A horizontal row of 30 gray star icons, used as a decorative separator at the bottom of the page.

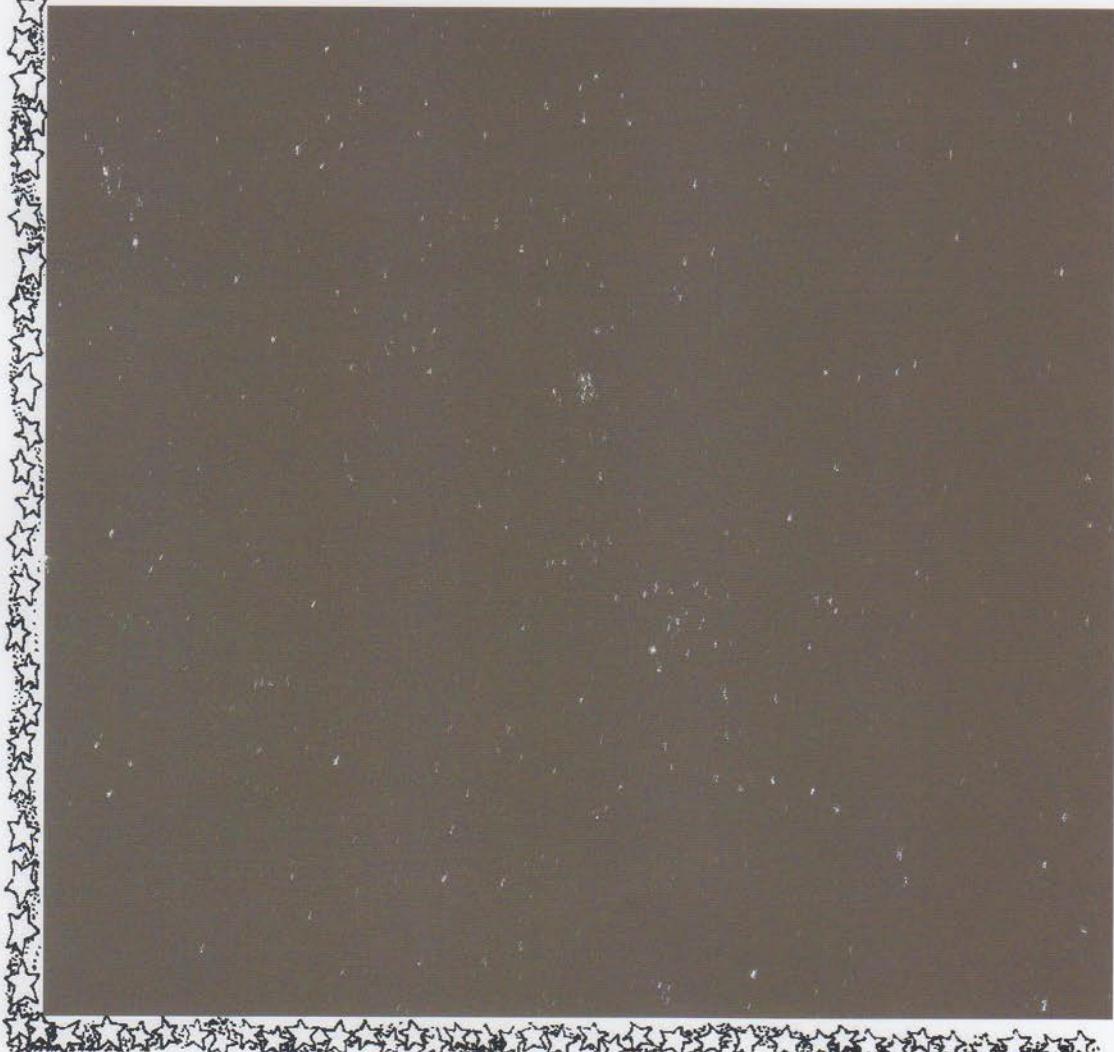
ちょっと一眼

Poem & Illustration

11月に入って、突然真冬並みの寒さになったと思ったら、立冬には一転、今度は3日連続の夏日。最近はやっと秋らしい肌寒さになったものの、降ったりやんだり、ぱつとしないお天気が続きます。

そろそろ星空の主役は冬の星座に交代しつつあるのですが、雨上がりの夜に、はくちょうからカシオペア・ペルセウスのあたりを通って冬の天の川へと続く星の流れを見つけた時は、なんだか幸せな気分になります。

さて、すばるを煌めかせたおうしが上ってくると、冬も、もうすぐ。そういえば、来年の干支はウシですね。今年は、日食で盛り上がった一年でしたが、来年はどうなるのでしょうか？（イースター島に行くわけでもない国内組としては、やはり、夜に楽しみたいと思ってますが・・・）



銀色の牛

銀色の牛が 長い角を振立てて 近づいてきたとき
わたしは 半ば 夢の中にいた
夜が 歌っていたようだった
赤々と輝く目が 薄明かりの残る地平を睨みつけていた

たしかに ちがう おまえは
阿蘇の原野で
ニンゲンの血肉になることなど知らずに
のんびりと草を食んでいた
あの 穏やかな生き物とは

牛の肩に乗った乙女たちが きらきらと笑いながら
はるかかなたを指差している

前足が いらただしげに踏みならされた
「いくのか、いかないのか」
問い合わせが わたしにむかっていることは わかったが
雨水の種をいくつも飲み込んでいたわたしは
喉まであふれそうな水をもてあまし
そのまま 固まっているしかなかった

夢の中に立ちつくしているうち
牛は少しずつ去っていくようだったが
やはり
その目は赤々と闇に沈んだ地平を睨みつけていた

いいえ わたし
ミノタウロスなんか 産まない



By Dio

2009年10月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 13日／14日 = 92.9%
一般来台者数 382名

総開台日数 14日
会員来台数 38名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
3日 (土)	晴れ	艶島、西嶋 中島、高田 小林J	60名	フィールドミュージアム「中秋の名月を見よう、写そう」 珍しく晴れた中秋の名月でした。きれいな月を見ながら、何度も写真をケータイやデジカメで撮って行かれました。 彗星観測
4日 (日)	晴れ 曇り	艶島 昼 夜 西嶋、小林J	30名 14名 0名	熊本市母子会 昼間の金星、電子紙芝居、日食の映像 木星、月にぎやかでした！
9日 (金)	曇り			薄雲越しに木星やベガが見えたので慌てて来ましたが、来台者は0。晴れることもなく終了。
10日 (土)	快晴	中島 艶島、小林J 小林M 西嶋、 高田、中島	11名	木星、ベガ、アルタイル、アルビレオ、アンドロメダγ、h-α、M36、M57、M27、M13、M31、M33など 京大の学生さん2人、木材学会で来館。観光ついでで来台。星の写真を撮りたいということでの来台でした。しっかり撮って帰られました。 Talk About 星屑発送、864便り、火の君祭りについて 今後のことについて、その他
11日 (日)	晴れ	艶島、西嶋 小林ま 小林J	12名	木星、海王星、アルビレオ、M31、M45、M2、白鳥座X-1 彗星観測
15日 (木)	晴れ	艶島 小林J	0名	217Pがアウトバーストして明るくなりました。J氏から連絡を受け、41cmで撮影しました。さて・・・・?
				彗星観測

日付	天気	担当運営	来台数	記　　事
1 6 日 (金)	曇り	西嶋	0名	雲の切れ間に木星が見えたので来ましたが、お天気回復せずお客様も0。もう帰ります。 20:50
1 7 日 (土)	晴れ	高田、白鳥 艶島	0名 77名	よく晴れて木星が見えましたが、来台者0。温 暖化について熱く語っていました。 五福公民館 木星、ベガ、アルビレオ、白鳥座X-1 電子紙芝居「ブラックホールは本当にあるか?」 「天に投げられた熊」「星座早見の使い方」「星 空クイズ」
1 8 日 (日)	晴れ	艶島 小林ま	○名	晴れてはいるものの、透明度も気流もぱっとし ない天気でした。
2 3 日 (金)	晴れ	艶島	2名	RKKラジオ ミミー号 取材でした。昼間の金星
2 4 日 (土)	曇り／ 晴れ	中島、艶島 小林J	45名	宇城市中央公民館 (子ども33名+保護者) 月、木星、ベガ 1つぽんのお客さんも来られましたが、あまり のちびっ子パワーに圧倒されたようでした。 彗星観測
2 5 日 (日)	雨	艶島、中島 西嶋	120 名	火の君祭り 特別公開を昼間に実施 残念ながら雨模様。1階で電子紙芝居、上で望 遠鏡を見てもらいました。金星の代わりに場内 のふわふわウシさんの目を・・・ おみやげの日食写真は大人気でした。
3 0 日 (金)	曇り	中島、高田 西嶋	2名	月と木星 道に迷ってやっと到着。でも、月の 写真で大満足。 何と! Juroさんがコーヒーを入れてくれま した!!! コロンビア。とってもおいしいコ ーヒーでした!!
3 1 日 (土)	快晴	西嶋 小林J 西嶋	9名	木星、ベガ、アルビレオ、ダブルダブル、アル デバラン、月、M57 晴れているのにお客様来ないねー、と帰る準備 をしたところに来台。にぎやかなファミリー2 組と常連さん1名でした。月のクレーターに感 動、何度も見なしてました。 コンデジで月

先日の十三夜とオリオン流星群、如何でしたでしょうか。幸いにも私は熊本市内で、少しでしたがどちらも見ることが出来ました。オリオン流星群は、本当なら開けた暗い場所まで行けるともっと沢山見られたのでしょうかけど…。この号が届く頃にはしし座流星群がやって来ます。18日の早朝、夜明け前から頑張っていると、もしかしたら沢山見られるかも？ 願い事、沢山考えとかなきや。後は、お天気次第…。(^_^;)

★ 12月の天文現象&行事★

- 1日（火） プレアデス星団、おうし座ヶ月星アルキオーネ(3.0等)の食
(23:16→00:24 福岡：暗縁から潜入)

2日（水） 満月（16:30）

7日（月） 大雪（たいせつ…寒気ますます盛んとなり、大雪の気配も強くなる）

8日（火） 木星の衛星エウロパがガニメデをかくす
(20:32.8 部分食 減光量19% 繼続時間6.1分)

9日（水） 下弦（09:13）

11日（金） はくちょう座χ星が極大（3.3～14.2等 周期408日）
木星の衛星エウロパがイオをかくす
(20:17.4 部分食 減光量30% 繼続時間4.0分)

12日（土） トークアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）

14日（月） ふたご座流星群が極大

16日（水） 天王星が東矩(10:00 5.8等 視直径03.5") 新月（21:02）

19日（土） 水星が東方最大離角(02:39 -0.5等 視直径06.7")

21日（月） 夕方の西空に、海王星と木星が最接近。側には上弦前の月も見られる。

22日（火） 冬至（とうじ…太陽が黄道の南限にあり、北半球では最も昼が短い）
こぐま座流星群が極大

24日（木） 土星の衛星テチスの影にディオネが入る
(03:51.2 本影食 減光量44% 繼続時間10.9分)
木星の衛星イオがエウロパをかくす
(18:18.0 部分食 減光量17% 繼続時間3.7分)

25日（金） 上弦（02:36）

30日（水） うみへび座Rが極大（4.0～10.9等 周期389日）

31日（木） 元旦の未明に部分月食

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2009年12月号 通巻417号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01700-5-105697
NPO熊本県民天文台事務局
ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで